

令和六年度 大学院人文科学府修士課程第一期入学試験問題

(中国哲学史)

※解答は答案用紙を横(受験番号欄を右位置)にして、縦書きで記しなさい。

一、次の項目から五つを選び、知るところをそれぞれ三〜四行で記しなさい。

- ① 子思 ② 劉向 ③ 楊時 ④ 王夫之 ⑤ 戴震
⑥ 春秋繁露 ⑦ 五經正義 ⑧ 近思錄 ⑨ 讀書錄 ⑩ 經義考
⑪ 万物斉同 ⑫ 正名論 ⑬ 教相判釈 ⑭ 全体大用 ⑮ 經世致用

二、次の中から一つを選び、知るところを具体的に論述しなさい。

- ① 中国における「聖人」観の歴史的変遷について。
② 朱子学と陽明学における『大学』解釈の異同について。

三、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。(『潜夫論』による)

國以賢興、以諂衰。君以忠安、以佞危。此古今之常論、而世所共知也。然衰國危君繼踵不絶者、豈世無忠信正直之士哉。誠苦忠信正直之道不得行爾。夫十步之間、必有茂草、十室之邑、必有俊士。賢材之生、日月相屬、未嘗乏絶。是故亂殷有三仁、小衛多君子。以漢之廣博、士民之衆多、朝廷之清明、上下修治、而官無直吏、位無良臣。此非今世之無賢也、乃賢者廢錮而不得達於聖王之朝爾。

四、次の文章を書き下し文に改め、また現代語訳しなさい。(『陸象山文集』による)

科舉取士久矣、名儒鉅公皆由此出。今為士者固不能免此。然場屋之得失、顧其技與有司好惡如何耳。非所以為君子小人之辨也。而今世以此相尚、使汨没於此而不能自拔、則終日從事者雖曰聖賢之書、而要其志之所郷、則有與聖賢背而馳者矣。推而上之、則又惟官資崇卑、祿廩厚薄是計。豈能悉心力於國事民隱、以無負於任使之者哉。從事其間、更歷之多、講習之熟、安得无所喻。顧恐不在於義耳。